

## Ⅷ 免許と資格等

### 1. 教員免許状（英語科）取得の要件

教職課程のカリキュラムは、教育職員免許法の規定に準拠し、武蔵野学院大学の教育の理念に基づいて編成されている。

中学校・高等学校教諭一種免許状（英語科）を取得するためには、まず卒業要件単位数を履修した上で、それぞれの免許状取得に必要な単位を修得しなければならない。さらに、所定の手続を経て申請を行った学生に対し、卒業時に免許状が授与される。

尚、中学校教諭1種免許状を取得する者は、2・3年次に社会福祉施設等で5日間、特別支援教育諸学校2日間、介護等の体験を受講しなければならない。

●教育実習を履修するには、次の条件を必要とする。

(1) 「教科に関する科目」または「教科及び教科の指導法に関する科目」における既に修得した科目において、評価「B」以上の数が原則全体の2分の1以上であること。

英語科教育法Ⅰ 2単位の単位が修得済みであること。

(2) 「教職に関する科目」または「教育の基礎的理解に関する科目等」における以下の科目の単位が修得済みであること。

2018年度までの入学生

教職概論	2単位	教育心理学	2単位	教育課程総論	2単位
教育原理	2単位	学級経営論	2単位	英語科教育法Ⅰ	2単位

2019年度からの入学生

教職概論	2単位	教育課程総論	2単位
教育心理学	2単位	教育原理	2単位

(3) 3年次に学内における「教育職員基礎学力試験」を受験し、それに合格していること。

(4) 原則としてCEFR B2程度の資格を取得済みであること。

(5) 教育実習校から「教育実習受入が可能である」旨の内諾を得ていること。

(6) 教育実習の諸手続（実習費等）が完了していること。

詳細な説明は、教職センターから行われる。教職課程は、社会的使命を負う教員を養成する課程だが、それ以上に人間力を高めるには大きなプラスになるものです。

○基礎資格と最低修得単位数

(1) 免許状を取得するためには、次表のとおり基礎資格が必要であり、また、「基礎科目」、「教職に関する科目」または「教育の基礎的理解に関する科目等」、「教科に関する科目」または「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教科または教職に関する科目」または「大学が独自に設定する科目」について所定の単位を修得しなければならない。

(2) 中学校教諭免許状を取得するためには、介護等体験（7日間）が課せられる。

2018年度までの入学生

免許状の種類	基礎資格	基礎科目 (免許法施行規則第66条の6に規定する科目)	本学における最低修得単位数				介護等体験
			教職に関する科目	教科に関する科目		教職に関する科目または教科	
中学校教諭1種免許状	学士の学位を有すること	日本国憲法 2単位 体育 2単位	31	英語	24	8	
高等学校教諭1種免許状		外国語コミュニケーション 2単位 情報機器の操作 2単位		英語	24	16	

2019年度からの入学生

免許状の種類	基礎資格	大学における最低修得単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教科の基礎理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
中学校教諭1種免許状（英語）	学士の学位を有すること	24	32	4
高等学校教諭1種免許状（英語）	有すること	24	29	12

2018年度までの入学生

○基礎科目（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する開設授業科目				備考	
科目	単位数	授業科目	単位数				
			配当年次	必修	選択	授業形態	
日本国憲法	2	現代社会論1(日本国憲法を含む)	1・2	2		講義	
体育	2	スポーツ1	1・2		1	実習	1科目2単位 選択必修
		スポーツ2	2・3		1	実習	
		スポーツと健康	2・3		2	演習	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	1・2		2	演習	1科目2単位 選択必修
		中国語コミュニケーション	1・2		2	演習	
		中国語I	1・2		2	演習	
		中国語II	1・2		2	演習	
		中国語III	2・3		2	演習	
		韓国語I	1・2		2	演習	
		韓国語II	1・2		2	演習	
		フランス語I	1・2		2	演習	
フランス語II	1・2		2	演習			
情報機器の操作	2	情報処理入門	1・2	2		演習	

○教科に関する科目（英語科）

学部・学科等		免許状の種類	免許法施行規則に定める科目	左記に対応する開設授業科目				備考
学部	学科等			授業科目	配当年次	単位数 必修 選択	授業形態	
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	中一種免 (英語)	英語学	英語学概論	2・3	2	講義	2科目4単位 選択必修
				English Grammar	2・3	2	演習	
	英語科コース	高一種免 (英語)	英米文学	英米文学史	1・2	2	講義	
				英書講読	3・4	2	演習	
				English Reading	1	2	演習	
				English Writing	1	2	演習	
				Oral English	1	2	演習	
				Advanced Oral English	1	2	演習	
				Advanced English Reading	2	2	演習	
				Advanced English Writing	2	2	演習	
				Communication English	1・2	2	演習	
				Communication English Skills 1	1	2	演習	
				Communication English Skills 2	1	2	演習	
				Communication English Skills 3	2	2	演習	
				Communication English Skills 4	2	2	演習	
				Communication English Skills 5	2	2	演習	
				Communication English Skills 6	2	2	演習	
				Public Speaking	2・3	2	演習	
				Integrated English	3・4	2	演習	
英語討論	3・4	2	演習					
ビジネス英語	3・4	2	演習					
異文化理解	異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション	1・2	2	講義			
		国際文化交流	1・2	2	講義			
		地域文化事情6 (アメリカ)	1・2	2	講義			
		地域文化事情8 (西欧)	3・4	2	講義			
		地域文化事情5 (オセアニア)	1・2	2	講義			

※本学における教科に関する科目（英語科）の最低修得単位数は、24単位とする。

○教科又は教職に関する科目（英語科）

認定を受けようとする学部・学科等		免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する開設授業科目				備考
学部	学科			授業科目	配当年次	単位数 必修 選択	授業形態	
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科 英語科コース	教科又は教職に関する科目	中 8 高 16	教育社会学	1・2	2	講義	「教科又は教職に関する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて中6高14単位以上修得
				国際コミュニケーション	1・2	2	講義	
				ボランティア1	2・3	2	実習	
				ボランティア2	2・3	2	実習	

※備考については必修単位を加えて中8、高16単位以上修得の意味となります。

○教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				備考		
科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	配当年次	単位数 必修 選択	授業形態			
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教育の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	2	教職概論	1・2	2	講義			
			教師論		2	2		講義	
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育史		2	2	講義		
			教育原理		1・2	2	講義		
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		教育心理学		1・2	2	講義		
			心身障害児教育I		2・3	2	講義		
心身障害児教育II		2・3	2	講義					
・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育行政学		3・4	2	講義				
学級経営論		3	2	講義					
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	中12 高6	教育課程総論		2	2			
	・各教科の指導法		英語科教育法I		2	2	演習		中1種免必修
			英語科教育法II		2	2	演習		
			英語科教育法III		3	2	演習		
			英語科教育法IV		3	2	演習		
	・道徳の指導法		道徳教育の指導法		2・3	2	講義		※中1種免のみ
	・特別活動の指導法		特別活動論		3	2	講義		
・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術		3	2	講義				
教育方法		3	2	講義					
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	4	生徒指導論（進路指導を含む）		3	2	講義	1科目選択必修	
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		カウンセリング		2・3	2	講義		
			教育相談		3	2	講義		
教育実習		中5	教育実習I		4	1	講義	中1種免必修	
		高3	教育実習II		4	2	実習		
			教育実習III		4	2	実習		
教職実践演習		2	教職実践演習（中・高）		4	2	演習		

\* 本学における教職に関する科目の最低修得単位数は中学校教諭31単位、高等学校教諭25単位とする。

\* 2016年度より「道徳教育の指導法」「教育相談」の科目名。

2019年度からの入学生

○基礎科目（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する開設授業科目				備考
科目	単位数	授業科目	単位数			
			配当年次	必修	選択	授業形態
日本国憲法	2	現代社会論1(日本国憲法を含む)	1・2	2		講義
体育	2	スポーツ1	1・2		1	実習
		スポーツ2	2・3		1	実習
		スポーツと健康	2・3		2	演習
外国語コミュニケーション	2	基礎英語2	1		2	演習
		中国語I	1・2		2	演習
		韓国語I	1・2		2	演習
		フランス語I	1・2		2	演習
情報機器の操作	2	情報処理入門	1・2	2		演習

○教科及び教科の指導法に関する科目（英語科）

学部・学科等		免許状の種類	免許法施行規則に定める科目	左記に対応する開設授業科目				備考
学部	学科等			授業科目	配当年次	単位数 必修 選択	授業形態	
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科 免許状取得に必要な最低修得単位数 ・教科及び教科の指導法に関する科目 中 28単位 高 24単位	教科に関する専門的事項 教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	英語学概論	2・3	2	講義	
			英語文学	英語文学	2・3	2	講義	
			英語コミュニケーション	English Reading & Writing 1	1	2	演習	
				English Reading & Writing 2	1	2	演習	
				English Listening & Speaking 1	1	2	演習	
				English Listening & Speaking 2	1	2	演習	
				Advanced English Reading & Writing 1	2	2	演習	
				Advanced English Reading & Writing 2	2	2	演習	
			基礎英語1	1	2	演習		
			英語討論	3・4	2	演習		
異文化理解	異文化コミュニケーション	2・3	2	講義				
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目								
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	英語科教育法I 英語科教育法II 英語科教育法III 英語科教育法IV	2 2 3 3	2 2 2 2	演習 演習 演習 演習	いずれか2科目 選択必修			

○大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				備 考
学 部	学 科	科目区分	単位数	授 業 科 目	配 当 年 次	単 位 数 必 修 選 択	授 業 形 態	
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科 免許状取得に必要な最低修得単位数 ・大学が独自に設定する科目 中 4単位 高 12単位	大学が独自に設定する科目	中 4	教育社会学	2・3	2	講義	※高1種免のみ
			高 12	国際コミュニケーション	1・2	2	講義	
				ボランティア	2・3	2	実習	
				道徳教育の指導法	2・3	2	講義	
				日本文化論 1	1・2	2	講義	
				日本社会論 1	1・2	2	講義	
				国際文化交流	1・2	2	講義	

○教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				備 考
科 目	各科目に含める必要事項	単位数	授 業 科 目	配 当 年 次	単 位 数 必 修 選 択	授 業 形 態	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	12	教育原理	1・2	2	講義	
	教職の意義及び教育の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	1・2	2	講義	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	3・4	2	講義	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	1・2	2	講義	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	2・3	2	講義	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程総論	2	2		
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中13	道徳教育の指導法	2・3	2	講義	※中1種免のみ
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	3	2	講義	
	特別活動の指導法		特別活動論	3	2	講義	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	高12	教育方法	3	2	講義	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論	3	2	講義		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	3	2	講義		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導	4	1	講義		
教職実践に関する科目	教育実習	中5	教育実習Ⅰ	4	1	講義	中1種免必修
		高3	教育実習Ⅱ	4	2	実習	
		高3	教育実習Ⅲ	4	2	実習	
	2	教職実践演習（中・高）	4	2	演習		

## 2. プレゼンテーション実務士資格取得の要件（2018年度までの入学生）

プレゼンテーション実務士の資格を取得するためには、まず卒業要件単位数を履修した上で、資格取得に必要な単位を修得しなければならない。登録料納入後に、履修登録となる。

○プレゼンテーション実務士資格に関する科目

専門科目	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態	備考
			必修	選択		
プレゼンテーション実務士	日本語表現法	1・2	2		講義	「プレゼンテーション実務士」称号の資格を取得する者は、国際コミュニケーション学部 の卒業単位を満たし、必修科目10単位以上、及び選択科目より12単位以上、計22 単位以上を取得しなければならない。
	プレゼンテーション技術	1・2	2		講義	
	プレゼンテーション演習I	1	2		演習	
	プレゼンテーション演習II	2	2		演習	
	情報機器利用プレゼンテーション演習	3・4	2		演習	プレゼンテーション技術、プレゼンテーション 演習IのうちどちらかはB以上の成績評価を 受け、必修科目3科目以上はB以上の成績 評価を得なければならない。
	現代社会論3（ビジネス）	2・3	2		講義	
	英語討論	3・4	2		演習	目指すもの 問題意識や問題解決能力を高めるため には、意見の提出や意識の共有が必要で ある。そのためには養成する人材像①「プレゼ ンテーション、ビジネス、インターネット等 の応用力を習得」することが必要である。
	ビジネス英語	3・4	2		演習	
	情報処理入門	1・2	2		演習	
	モバイル・コミュニケーション	1・2	2		講義	
	マルチメディア表現	3・4	2		演習	
	スピーチ・コミュニケーション	1・2	2		演習	
	コミュニケーション概論	2・3	2		講義	
	異文化コミュニケーション	1・2	2		講義	
	非言語コミュニケーション論1	1・2	2		演習	
	非言語コミュニケーション論2	1・2	2		演習	
	演劇表現論	2・3	2		演習	
	メディア表現論	3・4	2		講義	
	ポップカルチャー論	1・2	2		講義	
	心理学概論	1・2	2		講義	
	発達心理学	3・4	2		講義	
	社会心理学	2・3	2		講義	
	日本文化論1	1・2	2		講義	
	日本文化論2	3・4	2		講義	
	ビジネス・マネジメント	3・4	2		講義	
	国際文化交流	1・2	2		講義	
	教育心理学	1・2	2		講義	
	キャリア・デザイン5	3	2		演習	
	ビジネス・コミュニケーション	1・2	2		演習	

### 3. 実践キャリア実務士資格取得の要件

実践キャリア実務士の資格を取得するためには、まず卒業要件単位を履修した上で、資格取得に必要な単位を修得しなければならない。登録料納入後に、履修登録となる。

○実践キャリア実務士資格に関する科目（2017年度入学生まで）

専門 科目	群	分野	授業科目の名称	配当 年次	単位数 必修 選択	授業 形態	備 考		
実践 キャリア 実務士	キャリア 基礎教育		キャリア・デザイン1	1	2	講義	「実践キャリア実務士」称号の資格を取得する者は、国際コミュニケーション学部 の卒業単位を満たし、必修科目4単位、 選択科目のI群キャリア・教養分野10単位 以上、II群総合的実践実務分野2単位以 上、計16単位以上を取得しなければなら ない。  <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">目指すもの</div> 社会で自立できるよう、問題意識や問題解 決能力を高めること、自らのキャリアを考え、 能力開発していくことが必要である。養成 する人材像①「プレゼンテーション、ビジネ ス、インターネット等の応用力を習得」する こと、⑤「ボランティアやインターンシップ、 海外研修等の『行動体験』の領域を重視」 することが必要である。		
			キャリア・デザイン5	3	2	演習			
	実践キ ャリア 考	大学の 基礎教 育	キャリア・デザイン2	1	2	講義			
			キャリア・デザイン3	2	2	講義			
			キャリア・デザイン4	2	2	講義			
			情報処理入門	1・2	2	演習			
			情報リテラシー	1・2	2	講義			
			デジタルコンテンツ演習1	1・2	2	演習			
			デジタルコンテンツ演習2	1・2	2	演習			
			デジタルコンテンツ演習3	2・3	2	演習			
			デジタルコンテンツ演習4	2・3	2	演習			
			モバイル・コミュニケーション	1・2	2	講義			
	I群 キャリア ・教養 分野	ビジネス 基礎	日本語表現法	1・2	2	講義			
			プレゼンテーション技術	1・2	2	講義			
			プレゼンテーション演習I	1	2	演習			
			プレゼンテーション演習II	2	2	演習			
			ビジネス英語	3・4	2	演習			
			ビジネス・コミュニケーション	1・2	2	演習			
			国際経営	3・4	2	講義			
			ビジネス・マネジメント	3・4	2	講義			
			国際金融	3・4	2	講義			
			倫理学	1・2	2	講義			
	人間行 動		コミュニケーション概論	2・3	2	講義			
			社会学概論	1・2	2	講義			
			心理学概論	1・2	2	講義			
			カウンセリング	2・3	2	講義			
			教育心理学	1・2	2	講義			
			発達心理学	3・4	2	講義			
			社会心理学	2・3	2	講義			
			現代社 会		現代社会論1（日本国憲法を含む）	1・2		2	講義
					現代社会論2（政治）	1・2		2	講義
					現代社会論3（ビジネス）	2・3		2	講義
	現代社会論4（法と生活）	3・4			2	講義			
国際文化交流	1・2	2			講義				
地域文化事情1（日本）	1・2	2			講義				
地域文化事情2（韓国）	1・2	2			講義				
地域文化事情3（中国）	1・2	2			講義				
地域文化事情4（東南アジア）	1・2	2			講義				
地域文化事情5（オセアニア）	1・2	2			講義				
II群 総合的 実践 実務 分野	行動・ 実践	現代社会論6（アメリカ）	1・2	2	講義				
		現代社会論7（南欧）	3・4	2	講義				
		現代社会論8（西欧）	3・4	2	講義				
		インターンシップ1	2・3	2	実習				
		インターンシップ2	2・3	2	実習				
		ボランティア1	2・3	2	実習				
		ボランティア2	2・3	2	実習				
		マルチメディア表現	3・4	2	演習				
		情報機器利用プレゼンテーション演習	3・4	2	演習				

(2018年度入学生のみ)

専門 科目	群	授業科目の名称	配当 年次	単位数		授業 形態	備 考
				必修	選択		
実践キャリア実務士	領域1 働くための 基礎能力とキャリア 教養の領域	キャリア・デザイン1	1	2		講義	「実践キャリア実務士」称号の資格を取得する者は、国際コミュニケーション学部の卒業単位を満たし、必修科目4単位、選択科目12単位、計16単位以上を取得しなければならない。
		キャリア・デザイン2	1		2	講義	
		キャリア・デザイン3	2		2	講義	
		キャリア・デザイン4	2		2	講義	
		情報処理入門	1・2		2	演習	
		情報リテラシー	1・2		2	講義	
		デジタルコンテンツ演習1	1・2		2	演習	
		デジタルコンテンツ演習2	1・2		2	演習	
		デジタルコンテンツ演習3	2・3		2	演習	
		デジタルコンテンツ演習4	2・3		2	演習	
		モバイル・コミュニケーション	1・2		2	講義	
		日本語表現法	1・2		2	講義	
		プレゼンテーション技術	1・2		2	講義	
		プレゼンテーション演習I	1		2	演習	
		プレゼンテーション演習II	2		2	演習	
		ビジネス英語	3・4		2	演習	
		ビジネス・コミュニケーション	1・2		2	演習	
		国際経営	3・4		2	講義	
		ビジネス・マネジメント	3・4		2	講義	
		国際金融	3・4		2	講義	
		倫理学	1・2		2	講義	
		コミュニケーション概論	2・3		2	講義	
		社会学概論	1・2		2	講義	
		心理学概論	1・2		2	講義	
		カウンセリング	2・3		2	講義	
		教育心理学	1・2		2	講義	
		発達心理学	3・4		2	講義	
		社会心理学	2・3		2	講義	
		現代社会論1（日本国憲法を含む）	1・2		2	講義	
	現代社会論2（政治）	1・2		2	講義		
	現代社会論3（ビジネス）	2・3		2	講義		
	現代社会論4（法と生活）	3・4		2	講義		
	国際文化交流	1・2		2	講義		
地域文化事情1（日本）	1・2		2	講義			
地域文化事情2（韓国）	1・2		2	講義			
地域文化事情3（中国）	1・2		2	講義			
地域文化事情4（東南アジア）	1・2		2	講義			
地域文化事情5（オセアニア）	1・2		2	講義			
地域文化事情6（アメリカ）	1・2		2	講義			
地域文化事情7（南欧）	3・4		2	講義			
地域文化事情8（西欧）	3・4		2	講義			
領域2 体験と能力開発の 総合的学修	キャリア・デザイン5	3	2		演習		
インターンシップ1	2・3		2		実習		
インターンシップ2	2・3		2		実習		
ボランティア1	2・3		2		実習		
ボランティア2	2・3		2		実習		
マルチメディア表現	3・4		2		演習		
情報機器利用プレゼンテーション演習	3・4		2		演習		